



分科会 2 薬学教育は新たなステージへ ～医療人として求められる薬剤師の基本的資質～

10月7日(日) 15:00～17:30 第2会場(アクトシティ浜松 コンgressセンター 3F 31会議室)

W-02-01

基調講演 医薬品をより安全に使用するために ～薬害の教訓を踏まえつつ、患者の視点から～

はない じゅうご
花井 十伍

特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権

これまで、医薬品によって広範にもたらされた社会的被害＝薬害は繰り返されてきた。薬害は、当該医薬品の認可・安全対策にかかる情報提供についての国や製薬企業側の重大な落ち度によって被害が生じた社会問題である。しかしながら、被害拡大を抑止するプロセスにおいては薬剤師をはじめとする専門家が関与する余地が全くなかったわけではなかった。これまで、こうした観点から薬剤師の職能を期待されたことは必ずしもなかったのではないかな。

また、患者の視点からも患者にとっての医療者とは医師、看護師が中心で、薬剤師は調剤室の中にいる人たちである、といった認識も少なくなかったように思われる。

こうしたこれまでの実情は、薬剤師という専門家の職能や役割が医療機関や地域・国民において、限定的理解しかされてこなかったことや、薬剤師自身の認識によってももたらされたものである。

しかし、医薬分業、チーム医療や在宅医療の推進は、確実に薬剤師の存在感を高めてきているし、そもそも医薬品を安全に使用するための管理全般は、病棟・外来を含め薬剤師の役割だったはずである。これからの薬学教育には、これら国民のニーズに応えられる薬剤師を育てることが期待されている。